

市民の皆さんの投稿コーナーです。
誌面の都合で掲載できないことがあります。
締め切りは、前月10日です。

東日本の復興を願いながら…

福津市地域婦人会会長 岩佐礼子

皆さま、お元気で新年をお迎えのこと

と存じます。昨年は東日本を襲った未曾
有の大災害により、「幸せとは何か」価
値観までも変えるほどの大惨事に見舞
われました。揺るぎないものとして地域
のつながり、人と人との絆こそ大切と再
確認されました。また日本中が防災、防
災に明け暮れた年でもありました。

昨年12月、婦人会を母体とした72の
女性防火クラブ（福津市地域婦人会も加
入）の福岡県女性防火クラブ会長（県婦
人会会長）が、会員5万人のまとめ役と
して旭日双光章を表彰されました。消防
署などと協力し、警報器普及や消火訓練
と炊き出し、救急法やAED講習などの
活動が認められたものです。

福津市地域婦人会も、今年度60周年を
迎え、人言えば還暦。創世期から幾多
の困難を乗り越えて、諸先輩たちが営々
と築き上げてきた婦人会を、次世代へと
繋いでいく新たな第一歩を踏み出す節目
の年です。

福津市においても今年度「地域の日」
が制定されるなど、郷づくりもだんだん
盛んになってきています。防災面からも
地域の皆さまといかに手をつなぎ温もり
のある郷づくり、地域づくりに関われる
かがこれからの大きな課題です。

市民の皆さま、今年もどうぞよろしく
お願いいたします。



地域婦人会だより

川柳【福岡川柳会】

冬山の獣のように吼えている
西村かおる
喝采は遠く鎮くことしきり
神谷 幸恵
美しく枯れるを願う木葉髪
西 和子
発芽音きつと笑顔の花が咲く
中原 恵子
転ぶたび空は大きいなと思う
藤本久美子

俳句【太郎丸俳句会】

画鋏抜く呪文は解かれ古暦
木下 正治
かち鴉空家の庭は草紅葉
中村加寿子
断崖の色無き風の佛かな
薄 美津子
黒猫の顔なじみなり小春の日
坂上 俊恵
ベルを押す扉の前の懷手
畑迫 義文
小春日の砂文字を消す波がしら
畑迫みさを
別れの日たちまち来たり石路の花
納富 早苗

【海】

冬晴れや飮吸い込む山の湖
凡 天
有明の干潟一列シチメンソウ
田中 照子
花柎目を光らせて猫は待つ
小林 淑子
鍋かこみむつり爺の笑い茸
上妻 松子
仕舞風呂柚の香りの誕生日
岡部やエ子
長き夜の未完のドラマ湯を沸かす
原田 令子

【津屋崎俳句会】

寒木へしらじら風の渡りゆく
鈴木 敦子
仏洞の入口ふさぐ蔦紅葉
小原 修子
庭松は墨絵のごとし冬の月
中山富士子
落葉炊く日課や斗志めきしもの
松尾 忠義
色遣し散つて紅葉のような人
室元松喜代
寒月の磨ぎし作図の点と線
熊本 栄美
許す気をじんわり広ぐ冬の風呂
熊本 隼人

【川柳】

初夢で一際目立つ鷹の舞
久保山裕昭
古典派で説教好きな四字熟語
長井すみ子
女性党あれば任せて見たい今
東 浩子
亡き母と枕並べて知覧かな
林田恵津子
部屋越しに予報はずれてつい愚痴る
空谷 弘道
妻母祖母自分にあげる金メダル
安井 秀子

交差点赤青白のパラソル
競うように流れてる
蜘蛛の巣も枯葉を抱へて冬ごもり
紫陽花の少し揺れて隠れん坊

中島 久次

【玄鳥俳句会】

目が先に追いかけている銀杏黄葉
つるみつお
いつのまに居ついているや鳩
小野むつ子
山眠る久しく白髪染めにけり
幣 ふじの
自家製の豆味噌香る根深汁
小松富佐子

短歌【わたつみ短歌会詠草】

にぎり水をかくし染めたる紅葉花
冬待ち鳥の声だけがする

富田 浮風

さくら色の貝殻の片面ひかりおり
斜陽まはゆき浜辺の砂に
竹灯祭和紙に書かれし提灯の
絵の色燈めり暗闇の中に
ヒヨットコ踊りの楽に変わって
宮司三区の敬老会も終りに近づく
秋山を歩けばつわの花咲けり
すず虫は鳴きバツタの飛び交う
蒸し風呂も打たせも不用月の風呂
人声なければ更に幸せ
里山の杉の木立を背景に
朱の一筆なす柿の大樹よ
和だんすに時の流れを思いやり
我が着物を孫にと直し
青松とふ言葉は空し奇怪なる
枯れ松目立つ福津の海岸

佐々木和彦

山形 四郎

芙蓉 静子

萱田 生子

北富れい子

小林 陽子

野部フクヨ

島崎 渚

老いなるが故と早起き朝毎に
散歩や掃除の出来る喜び
速読の苦手の我は難解の
箇所不到ればスイッチバックス
忘れざる思ひ出ありしつわ路の
黄色照り映ゆ霜月夏日に

浜崎 敏江

徳田 敏子

銭花 治代

【一般投稿】——短歌——

つ、がなく過せる日々が有難く
寒さきびしき今日この頃は
菊花展最終の日に行きたれば
大輪の花くれし人あり
鴨の数今朝は二百を越えたるか
久末ダムに鶴翼の陣
両エース泣き崩れたり名勝負
歓声三万ドームに静もる

山崎あつ子

坂口 怜子

野間 精一

方木 修一

川柳【福岡川柳会】

冬山の獣のように吼えている
西村かおる
喝采は遠く鎮くことしきり
神谷 幸恵
美しく枯れるを願う木葉髪
西 和子
発芽音きつと笑顔の花が咲く
中原 恵子
転ぶたび空は大きいなと思う
藤本久美子

俳句【太郎丸俳句会】

画鋏抜く呪文は解かれ古暦
木下 正治
かち鴉空家の庭は草紅葉
中村加寿子
断崖の色無き風の佛かな
薄 美津子
黒猫の顔なじみなり小春の日
坂上 俊恵
ベルを押す扉の前の懷手
畑迫 義文
小春日の砂文字を消す波がしら
畑迫みさを
別れの日たちまち来たり石路の花
納富 早苗

【海】

冬晴れや飮吸い込む山の湖
凡 天
有明の干潟一列シチメンソウ
田中 照子
花柎目を光らせて猫は待つ
小林 淑子
鍋かこみむつり爺の笑い茸
上妻 松子
仕舞風呂柚の香りの誕生日
岡部やエ子
長き夜の未完のドラマ湯を沸かす
原田 令子

【津屋崎俳句会】

寒木へしらじら風の渡りゆく
鈴木 敦子
仏洞の入口ふさぐ蔦紅葉
小原 修子
庭松は墨絵のごとし冬の月
中山富士子
落葉炊く日課や斗志めきしもの
松尾 忠義
色遣し散つて紅葉のような人
室元松喜代
寒月の磨ぎし作図の点と線
熊本 栄美
許す気をじんわり広ぐ冬の風呂
熊本 隼人

【川柳】

初夢で一際目立つ鷹の舞
久保山裕昭
古典派で説教好きな四字熟語
長井すみ子
女性党あれば任せて見たい今
東 浩子
亡き母と枕並べて知覧かな
林田恵津子
部屋越しに予報はずれてつい愚痴る
空谷 弘道
妻母祖母自分にあげる金メダル
安井 秀子

また今年息子がくれたお年玉
迷わず孫へ万札弾み

宙 燃

冬晴れの空に仄かに青おびし
名残りの月に逢ひて佳き朝

山本 夏枝

長2km（十七地点）
ビクトリア滝（ジンバブエ）
世界三大瀑布観

遂に叶った

【一般投稿】——俳句——

氷雨の夜赤提灯に父と娘と
母が盛るお盆に郷の次郎柿
冬の畑あの雲のけたや太陽恋し
寒の雨息子子の住む家を去りがたく

寺嶋 幸子

菅田 隆一

的場 百世

徳永タミ子

囲碁・将棋大会 結果

市実年囲碁会11月例会

次回は、1月17日(火)、1月24日(火)午前10時
受付締切により、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	宮崎 良一	牛垣 徹	岩谷 巖
2	東 治夫	佐藤 弘	井本 雅文
3	寛 芳武	木植 宏	河野 吉幸
4	崎村 忠司	山口 忠男	林田 健介
5	東 輝雄	杉本 徹	吉田 弘実
6	足立 文雄	中嶋 一	花田 和彦
7	折目 實	広渡 直	永島 和美
8	政所 等	徳永 吉三	玉井 國雄
9	上野 象三	船津 正和	武田 隆幸
10	石井 隆夫	荒巻 渉	内田 義徳
11	立和田 實	江頭 巖	大塚 俊一

連 東 輝雄 ☎43・1626

福津市将棋同好会11月例会

	1位	2位	3位
A	北原 靖三	滝口 純一	春日 久行
B	石松 大明	神尾 弘行	佐藤幸四郎
C	村上 良明	西野寅太郎	秋山 元治
D	仲上 徹志	中島 宗行	松原 恒二
E	花田 友行	渡辺 俊男	梶木 繁寛
F	岡部 正敏	岡部 隆	諫山 嘉刀

連 吉村 友行 ☎43・1308

福津市囲碁会11月例会

次回は、1月9日(月)午前9時受付締切により、
市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	菊地 猛⑦	牛垣 徹⑤	執行青春⑤
2	大津勝義④	田中英則④	佐藤 弘④
3	猪俣征雄④	井本雅文③	河野吉幸④
4	中嶋 孚③	今和泉敏之③	小田邦彦③
5	花田和彦③	井手美德③	山崎和夫③
6	萩 忠志③	玉井國雄③	吉田弘実③
7	森北新吉②	中嶋 一②	田中俊勝②
8	笹山輝雄①	堺谷光男①	肥高 勲①
9	塚崎國茂①	徳部正美①	立和田實①
10	山本正三⑤	城野正雄①	坂井 衛③

連 今丸 眞 ☎43・3325 ①は二段、②は2級

津屋崎囲碁同好会11月例会

次回は、1月22日(日)午前10時から市文化会館で開催します。

	1位	2位	3位
A	中嶋 孚④	菅原勝弘⑤	永島和彦④
B	永島和美④	河野正廣③	林田健介④
C	今村善司①	吉武隼人③	藤井義孝②
D	春藤哲夫②	坂井 衛④	城野正雄①

連 永島 和美 ☎52・5610 ①は二段、②は2級